

第50回日本胆道学会学術集会：2014.9.27. 東京
日本胆道学会創立50周年記念シンポジウム

日本胆道学会の現状について

日本胆道学会理事長

乾 和郎

「日本胆道学会」名称の変遷

年度	回数	開催場所	名称
1965	1	千葉	胆のう造影研究会
1967	3	京都	胆嚢造影研究会
1968	4	仙台	胆道造影研究会
1969	5	福岡	胆道疾患研究会
1982	18	東京	日本胆道疾患研究会
1987	23	弘前	日本胆道学会

胆道疾患研究会の歴代会長名（敬称略）

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
窪田博吉	高山欽哉	三好秋馬	佐藤寿雄 三浦清美	永光慎吾
1965	1966	1967	1968	1969
第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
亀田治男 佐藤寿雄 草地伸勲	清永伍市	中沢三郎	杉浦光雄	並木正義
1970	1971	1972	1973	1974
第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
羽生富士夫	児玉 求	斉藤洋一	大藤正夫	土屋涼一
1975	1976	1977	1978	1979
第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
武内俊彦	宮崎逸夫	菅田文夫	葛西洋一	小林絢三
1980	1981	1982	1983	1984
第21回	第22回			
水本龍二	大菅俊明			
1985	1986			

胆道学会の歴代会長名（敬称略）

第23回	第24回	第25回	第26回	第27回
小野慶一	兵頭春夫	香月武人	亀田治男	中山和道
1987	1988	1989	1990	1991
第28回	第29回	第30回	第31回	第32回
有山 襄	高田忠敬	梶山梧郎	鈴木範美	大井 至
1992	1993	1994	1995	1996
第33回	第34回	第35回	第36回	第37回
谷村 弘	藤田力也	船曳孝彦	税所宏光	二川俊二
1997	1998	1999	2000	2001
第38回	第39回	第40回	第41回	第42回
堀口祐爾	永川宅和	田中直見	角田 司	藤田直孝
2002	2003	2004	2005	2006
第43回	第44回	第45回	第46回	第47回
田尻 孝	乾 和郎	竜 崇正	田妻 進	千々岩一男
2007	2008	2009	2010	2011
第48回	第49回	第50回		
滝川 一	宮崎 勝	五十嵐良典		
2012	2013	2014		

学会事務局所在地の変遷

期間	担当大学	所在地
～1991.10.	東京慈恵会医科大学 第1内科	東京都港区
～1994.6.	千葉大学第1内科	千葉県千葉市
～1996.3.	順天堂大学消化器内科	東京都千代田区
～2003.3.	順天堂大学消化器内科	東京都文京区
～2008.12.	名古屋大学器官調節外科	愛知県名古屋市
～2010.12.	北海道大学腫瘍外科	北海道札幌市
2011.1.～	藤田保健衛生大学坂文種 報徳會病院消化器内科	愛知県名古屋市



名古屋城

名古屋駅

胆道学会
事務局

藤田保大
ばんだね病院

名古屋市中
中学校前津中
上前津

日本胆道学会

日本胆道学会の現状

名誉理事長 2名

名誉会員 47名 / 特別会員 27名

理事長 1名

理事 12名 / 監事 2名

評議員 141名

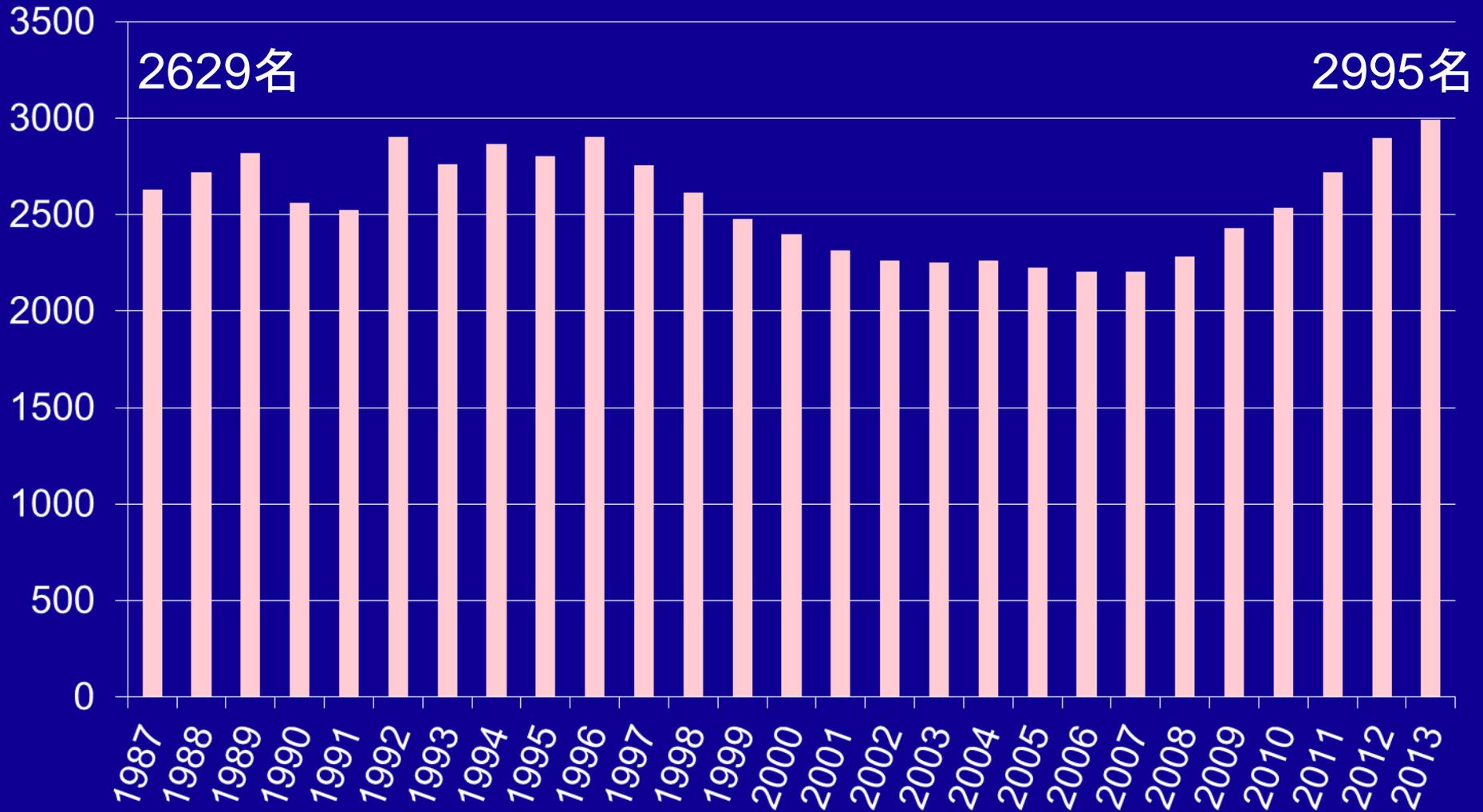
学会会員 2,995名

(外科1,430名、内科1,426名、
放射線科35名、病理33名、その他71名)

日本胆道学会発足時との比較

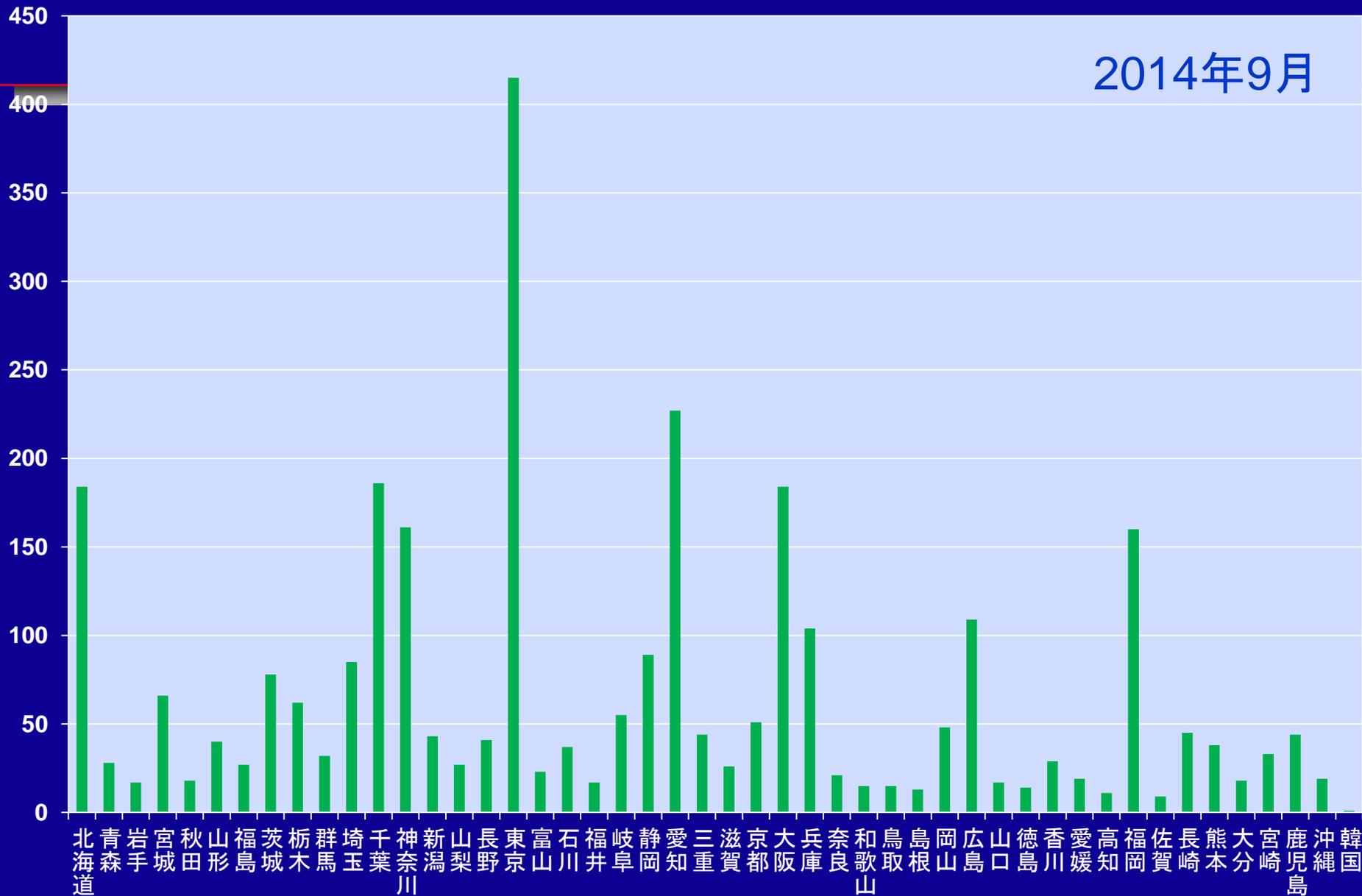
	1987年	2014年
名誉理事長	—	2
名誉会員	—	47
特別会員	6	27
理事長	—	1
理事	12（会長・副会長含）	13
監事	2	2
評議員	62	141
学会員	2,629	2,995

胆道学会会員数の推移

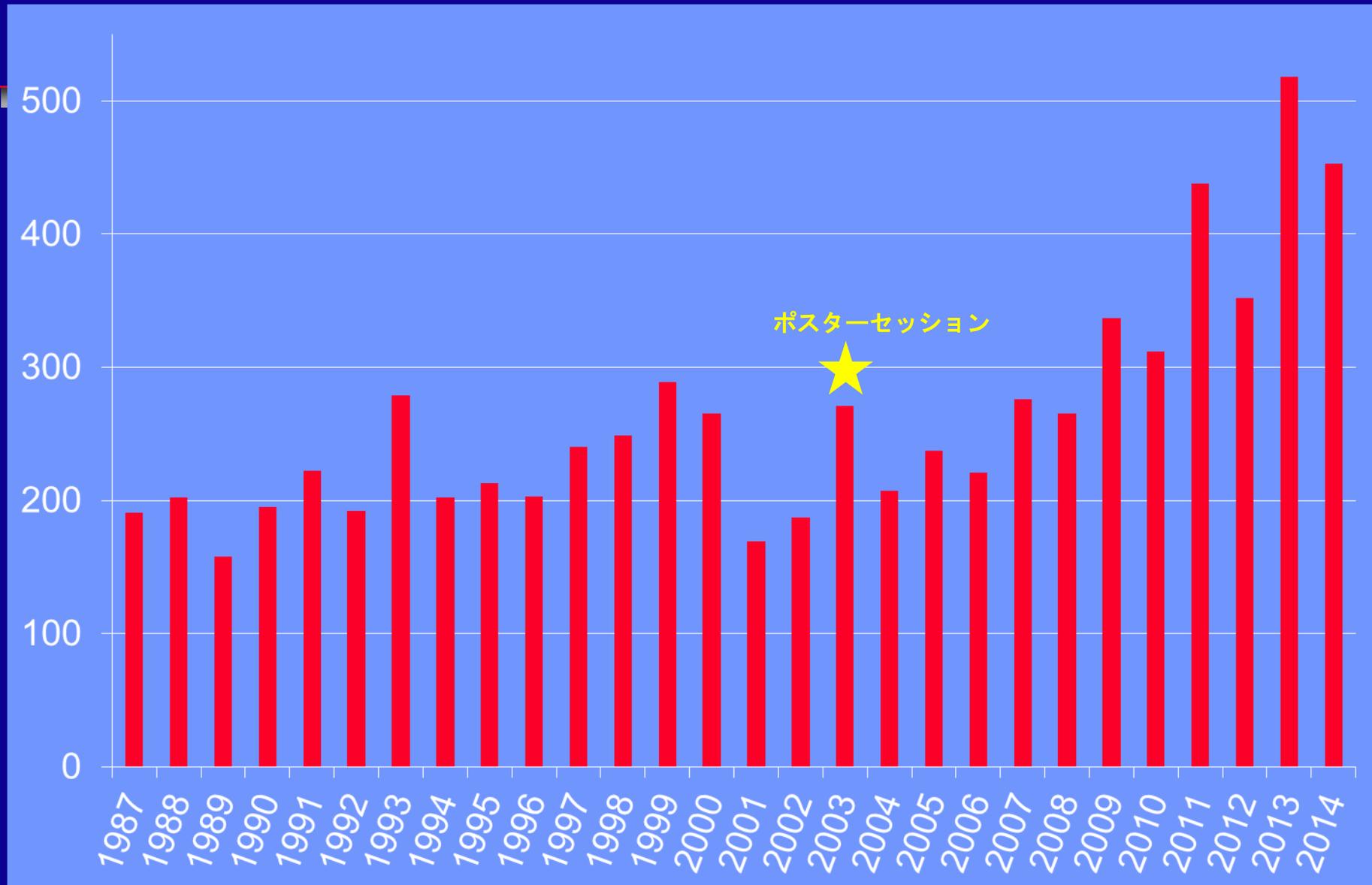


都道府県別にみた胆道学会会員数

2014年9月



胆道学会における総演題数の推移



機関誌「胆道」：歴代編集委員長

期 間	巻・号	委員長名
1987～	1巻1号～	故菅田文夫
1992～	6巻5号～	有山 襄
1996～	10巻1号～	故土屋幸浩
1998～	12巻3号～	大井 至
2000～	15巻1号～	角田 司
2006～	20巻1号～	乾 和郎
2011～	25巻1号～	田妻 進

(敬称略)

機関誌「胆道」の主な改革

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 「胆道」掲載を評議員資格に | 1977年 |
| 出版社・表装変更・ロゴ採用 | 2007~8年 |
| J-STAGE (電子ジャーナル)に掲載
(オンライン化) | 2009年 |
| JHBPSを公式英文誌に採用 | 2010年 |

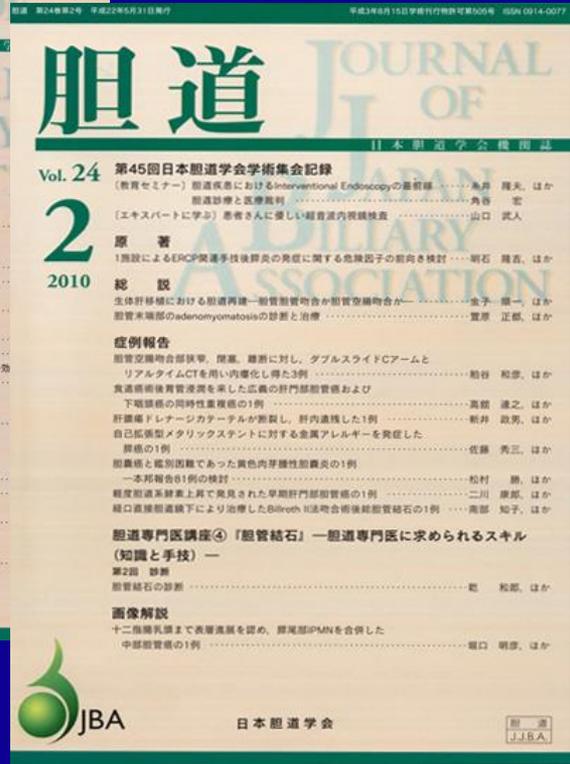
「胆道」の表装とロゴマーク



2007年21巻



2008年22巻

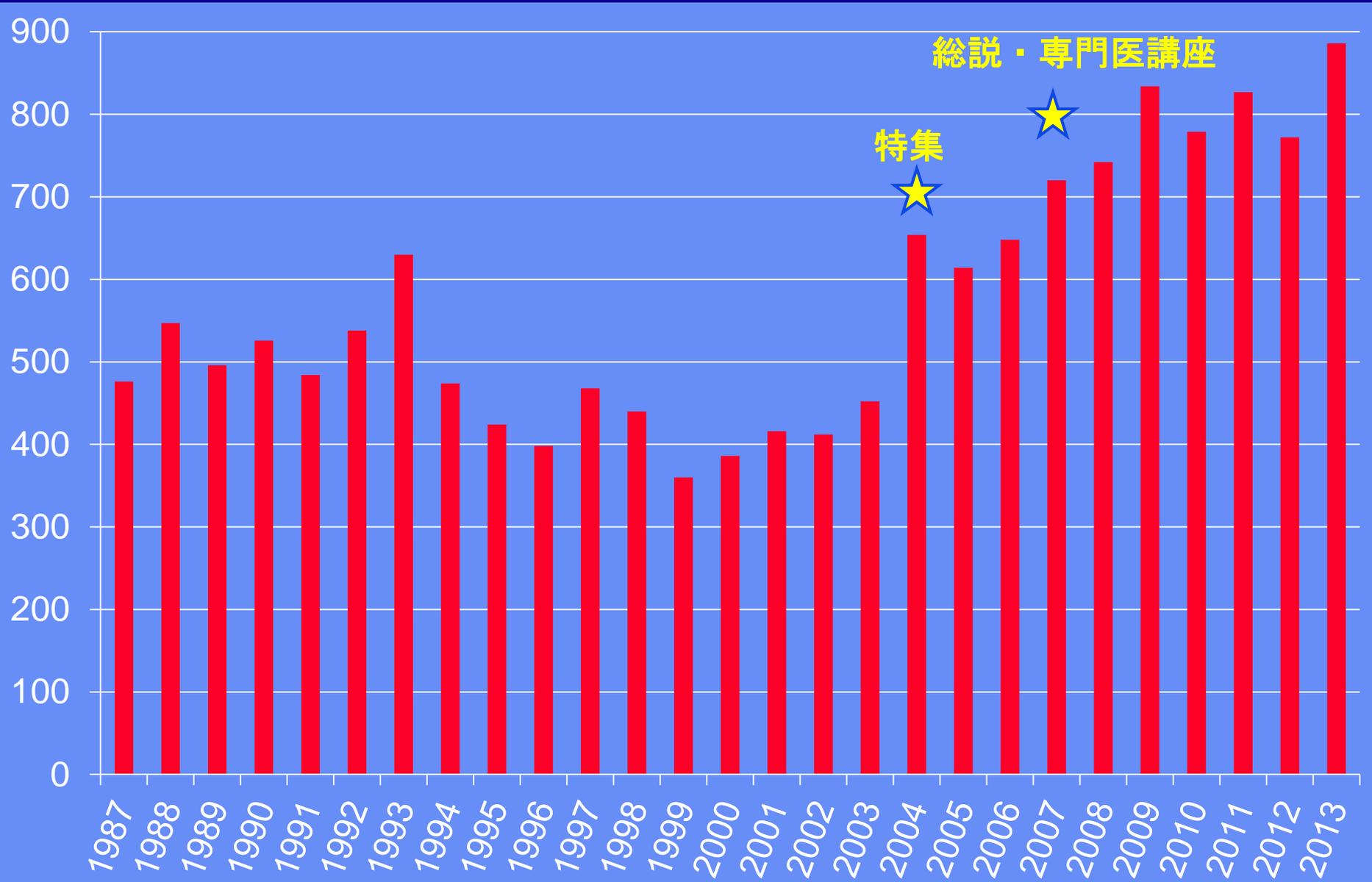


日本胆道学会機関誌

会員 筒井邦彦先生によるデザイン



「胆道」：総頁数の推移



JHBPSとの提携（official journal）

JHBPS電子版へのアクセスが可能（2010年）

- 「胆道」掲載論文の中から学会賞受賞論文の推薦
- ガイドライン掲載
（IgG4関連硬化性胆管炎診療ガイドライン2012）
- 学会主導の全国調査報告掲載
（原発性硬化性胆管炎・肝粘液性嚢胞腫瘍と粘液性胆管腫瘍）

学会認定指導医制度の導入（2010年）

- 学会は本来、国民の福祉に貢献する必要がある。
- 宣伝や情報が氾濫している現代において、正確で信頼できる情報を学会が主導して発信する必要がある。
- 誰もが認める専門医を育てる必要がある。

（胆道のプロを目指す若手にとっての良い
努力目標）

カテゴリー別の胆道指導医数（2014年）

専門カテゴリー	
1.内視鏡診断治療	232
2.経皮経肝的診断治療	194
3.癌薬物治療	226
4.胆石・良性疾患外科治療	170
5.癌外科治療	185
6.放射線診断	0
7.癌放射線治療	0
8.病理診断	3
指導医の合計数	420

認定指導医制度のHP画面

学会について about | 学術集会 meetings | **資格制度 qualification** | 学会誌 Journals | 事務手続 procedures | **市民の皆さまへ citizen**

日本胆道学会 医制度 指導医一覧(地区別:五十音順)
Japan Biliary Association

カテゴリー
1、内視鏡診断治療 2、経皮経肝の診断治療 3、癌薬物治療 4、胆石・良性疾患外科治療 5、癌外科治療 6、放射線診断 7、癌放射線治療 8、病理診断

(平成26年7月1日現在)

地区	指導医名	カテゴリー	
北海道	奥 隆臣	1,2,3	
	河上 洋	1,2,3	北海道大学病院
	川久保 和道	1,2,3	北海道大学病院
	粟谷 将城	1,2,3	北海道大学病院
	田中 栄一	5	北海道大学病院
	田本 英司	4	北海道大学病院
	丹野 誠志	1,2,3	イムス札幌消化器中
	長川 達哉	1,2,3	JA北海道厚生連病院
	久居 弘幸	1,2,3	総合病院 伊達赤十
	平野 聡	5	北海道大学病院
	真口 宏介	1,2,3	手稲溪仁会病院消化
青森	宮川 宏之	1	札幌厚生病院
	鬼島 宏	8	弘前大学医学部附属
岩手	袴田 健一	4,5	弘前大学医学部附属
	村上 晶彦	1,2,3	岩手県立中央病院

IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明生会
イムス札幌消化器中央総合病院
 (旧称: 琴似ロイヤル病院)

求人情報 | 交通アクセス | お問合せ | HOME

地域医療連携室 [はこちら](#)

JR琴似駅下車 徒歩3分
 ☎ 011-611-1391(代)

外来のご案内 | 健康診断のご案内 | 入院のご案内 | 診療科紹介 | 部署紹介 | 当院について

時代が求める最新かつ良質な医療を提供します

IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明生会 イムス札幌消化器中央総合病院

2013年4月 旧称: 琴似ロイヤル病院は、病院名を「イムス札幌消化器中央総合病院」に変更いたしました。

診療科のご案内

- 消化器内科
- 循環器内科
- 内科
- 腎臓内科(人工透析)
- 糖尿病内科
- 消化器外科
- 呼吸器内科
- 整形外科
- 泌尿器科

診療受付時間
 月曜日～金曜日
 午前 8:30-11:30
 午後 1:00-4:30
 ※土曜日は午前のみ

休診日
 土曜午後、日曜、祝日

→ 外来のご案内

充実の内視鏡的診断治療

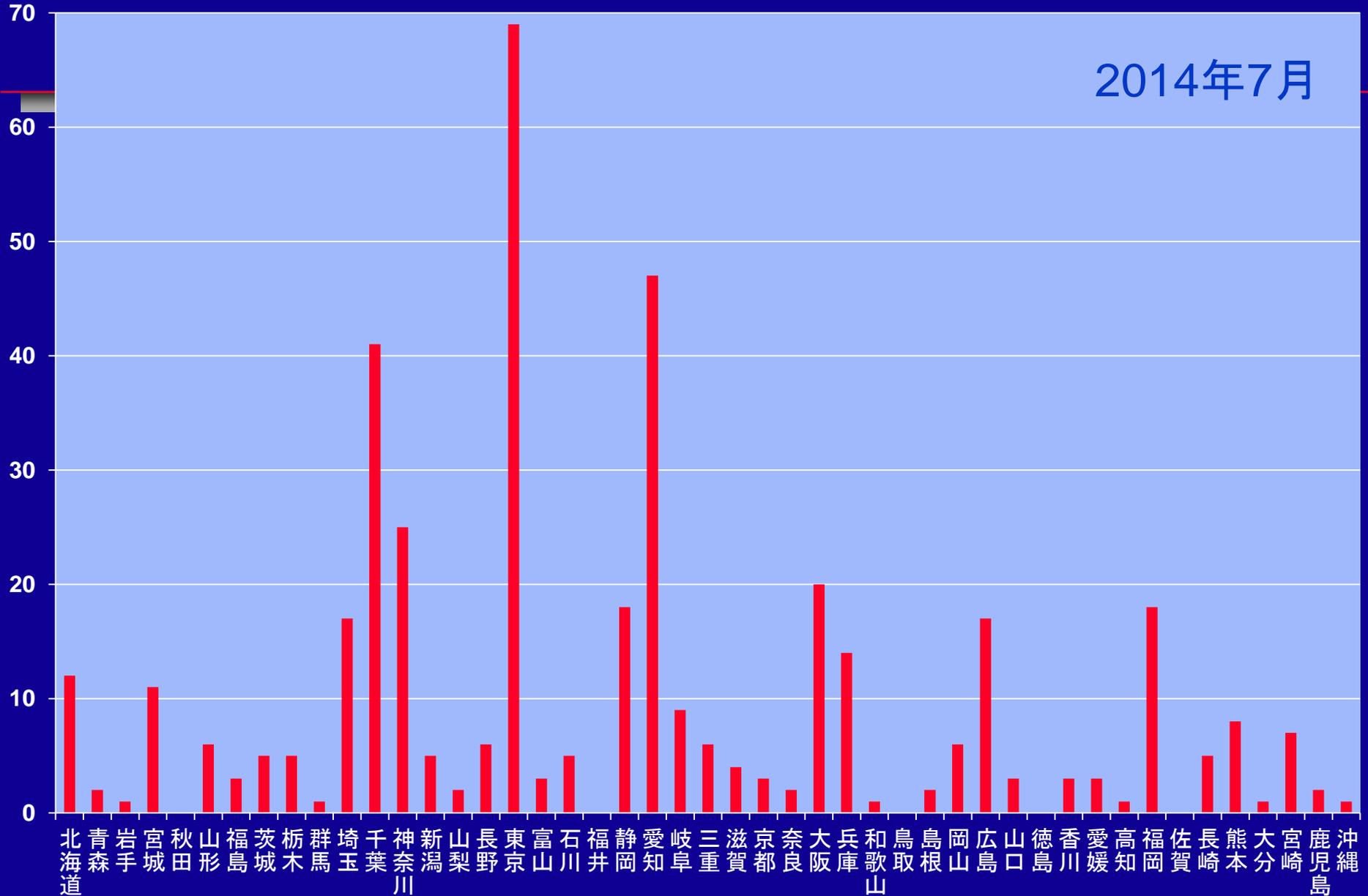
内視鏡を駆使し、患者さまに負担の少ない診断や治療をお受けいただいております。

人工透析

無料送迎サービス、臨時透析など利用者の方のニーズに沿った環境をご提供しています。

都道府県別にみた指導医の分布

2014年7月



まだ指導医がいない県の状況

	県名	学会員数	有資格 会員数	評議員	名誉会員	特別会員
1	秋田県	18	15	0	0	0
2	福井県	17	10	0	1	0
3	鳥取県	15	3	0	0	0
4	徳島県	14	5	0	1	0
5	佐賀県	9	3	0	0	0

(2012年 13県、2013年 8県)

胆道学会における最近の活動

- ホームページリニューアル
- 機関誌「胆道」オンライン化(J-STAGE)
- 指導医制度の導入
- 胆石症・印刷業と胆管癌・
肝粘液性腫瘍と粘液性胆管腫瘍・
原発性硬化性胆管炎などの全国調査
- IPNBに関する
 シングルトピックカンファランス開催

胆道学会としての今後の取り組み

- 学会主導で新しい研究の創出
- 学会での討論の活発化・国際化
- 若手医師の指導・教育
- 雑誌「胆道」の充実と国際発信
- 社会貢献
- 委員会活動の見直し・組織編成